



祝 辞

石川県知事 谷 本 正 憲

石川県社会教育協会が創立70周年を迎えるにあたり、記念誌『接点』を発刊されますことを心からお慶び申し上げます。貴協会におかれましては、行政、教育等の大変革が進む戦後まもない昭和23年に創立されて以来、長きにわたり、本県の社会教育の発展のために多大な貢献をいただいております。深く敬意を表する次第であります。

近年、少子高齢化や核家族化の進行に加え、都市部においては、アパート・マンションの増加等により、地域の間人間関係が希薄化しており、地域コミュニティの機能が弱まりつつあると言われております。

こうした中、石川県は、地域の深いつながりが残る全国でも稀有な地域であり、能登半島地震の際にも、「地域の絆」が被害の軽減に大きくつながりました。

また、昨今、地方創生が国・地方を通じた大きな課題となる中、地域を活性化させていくためには、「地域の絆」を強めていくことが重要であり、「地域の絆」の大切さを広めておられる皆様方の役割は今後ますます大きくなってまいります。

県では、今後10年間の進むべき方向を指し示す羅針盤として、今年、新たな長期構想を策定したところであります。教育については、「未来を拓く心豊かな人づくり」をめざし、次代を担う子どもたちの育成はもとより、社会教育の振興を通じて生涯学習のより一層の推進に努めてまいりたいと考えております。

石川県社会教育協会におかれましては、今後とも、生涯学習の推進や地域に根差した社会教育の振興に一層のご協力、ご尽力をお願い申し上げます。

最後に、石川県社会教育協会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、発刊に寄せる言葉といたします。